

例えば、毎年の寄付金額を減らし、その資金を運用に回し、運用益を得ることは、境町全体を連結決算で考えた場合、資産の増加に寄与するものであると考えられます。

現在、証券会社からも外国債券、外資投資などの様々な提案をいただいておりますが、境町は国際交流含め海外でお金を使う場合が多い自治体でもありますので、どうすれば町が損をすることがないのか、公金管理委員会を含め、慎重にしっかりと検討をして参りたいと思います。（町長・企画部長）

議席5番

岩崎 博 議員



部活動の地域移行について

Q 部活の地域移行について、地域おこし協力隊や民間事業者等を活用していく旨を以前聞いたが、今後の展望について町の考えを伺いたい。

A 部活動地域移行の取組については、令和4年11月に設立した一般財団法人地域スポーツ財団を中心に境町スポーツ協会や学校と協議を重ねてまいりました。

また、町内にある全国でも一流の施設を活用し硬式テニスやBMX等の多様なスポーツの地域移行も検討しております。家庭の経済状況に関わらず希望する全ての生徒が参加できるように生徒や保護者にとつて望ましい環境の確保と学校の働き方改革の実現に向けて検討してまいります。

（副町長・教育長）

移住定住促進住宅の今後について

Q 8月から開始されたマハロタウンⅡの応募状況について伺いたい。

A 8月16日から募集を開始いたしました。9月6日時点で33件の申込みがありました。申込期限は10月16日までとなっておりますので、今後、締切にかけましてさらに増加していくものと思われます。

（企画部長）

Q 境町への移住希望者が、土地が手に入らないとの声を聞くが、

住宅用地の供給について町の考えを伺いたい。

A 当町は、都市計画法に基づき昭和45年11月に市街化区域と市街化調整区域を分ける線引きを定めておりますが、平成21年12月には市街化調整区域においても区域指定制度を導入しています。

当町では、市街化区域に隣接する長井戸・上小橋の一部を対象としておりましたが、令和4年4月には西泉田の一部にも拡大したところでございます。引き続き、他の自治体の事例等も調査・研究しながら進めてまいりたいと考えております。

（企画部長）

放課後児童クラブの運営体制について

Q 放課後児童クラブの運営について、子ども関連部署ではなく、教育委員会が主体の自治体があるとのことだが、町の考えを伺いたい。

A 現在は、子ども未来課が主管しています。県内では、13の自治体で教育委員会が主管しています。なかでも牛久市では、小学校の校長先生が放課後児童クラブの施設長となっており、クラブの運営について、指導及び監督を行っています。

ることから、学校とクラブの連携がとりやすく、月に一回施設長会議を開催し、クラブの責任者と各学校長が集まり会議を実施することで、児童の情報共有を図っているとのこと。

また、放課後児童クラブで異常があった時には、学校の職員が駆けつけるなど、緊急時の対応についても学校と連携を図る取組が実施されていることです。放課後児童クラブの主管を教育委員会に移すことは、学校とクラブを利用する保護者の3者間において、責任の所在が明確になるだけではなく、児童にとつても放課後児童クラブに参加しやすくなる等、今まで以上に放課後の児童の居場所が有意義になるものと考えております。

また、学校との連絡調整がとりやすくなるため、待機児童が発生した場合でも学校の空き教室の有効利用がしやすくなることが想定されることから、当町においても今後、放課後児童クラブの主管を教育委員会に移す検討をしてまいります。（町長・町民生活部長）

